

令和5年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月5日実施)	総合評価(3月21日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①再編成した教育課程に基づき、より良い授業づくり、実践を行う ②児童・生徒一人ひとりの自立と社会参加を目指す小学部・中学部・高等部の学習内容の精選を行う	①カリキュラム・マネジメントを推進し、身につけさせたい力を明確にした指導計画を立て、ねらいを明確にした授業を実践・改善する ②自立と社会参加のために必要な資質と能力の育成を目指し、小・中・高での学びの系統性・連続性を意識した学習内容の精選を図る	①「カリキュラム・マネジメント要綱」及び「個別の教育支援計画作成マニュアル」を活用し、計画・実践・評価・改善のサイクルによる授業の充実を図る ②小・中・高の学部間、部門間の連携をさらに進め、教育活動の目標設定や学習内容の系統性・連続性を踏まえた整理を行う	①身につけさせたい力を明確にした指導計画により、何ができるようになるのか、何を学ぶか、どのように学ぶか、をpushさせた授業実践と改善が行われたか ②学びの系統性・連続性を意識した教育活動の目標設定により、段階的な学習内容の再構築が図られたか	①身につけさせたい力を明確にした指導計画や授業案が立てられ、ねらいを明確にした授業実践と改善が行われた ②自立と社会参加を目指した授業づくりをテーマに研究を進め、学部部門間の「コラボ授業」をはじめとした小中高の連携が進展した	①より良い授業づくり、実践を行うにあたり、1人1台端末によるICT活用をどのように図っていくかが課題である ②学部部門間交流を持続可能な取組として充実させると共に学びの系統性を整理していくことが必要である	ICTは子どもたちにとって有効なツールであり、教員も乗り遅れないように努力が必要 令和6年1月実施「個別教育計画が授業や指導内容、進路指導の改善に活用されている」 よくあてはまる 71% ややあてはまる 25% 合計 96%の高評価	成果：身につけさせたい力を明確にした指導計画や授業案が立てられ、ねらいを明確にした授業実践と改善が行われ、学びの系統性・連続性を意識した教育活動が進展した 課題：1人1台端末によるICT活用を推進する	・1人1台端末の整備・利活用を促進し、ICTを活用した授業を実践する ・自立と社会参加を見据えた学びの系統性・連続性を整理、精選し「コラボ授業」などの小中高の連携を一層進展させる
2 児童・生徒指導・支援	①アセスメントに基づくエビデンスのある指導・支援を実践する ②保護者、専門職等との連携を図り、チーム力を活用した指導・支援を実践する また、医療的ケアの安全な実施を推進する	①アセスメントを全校レベルで計画的に実施し、評価を活用した指導計画と授業実践を定着させる ②医療的ケアをはじめとする教育活動の安全な実施と事故防止に向けて、保護者の理解と協力を得ながら、チーム力を発揮した安全体制を構築する また摂食指導の意識を高め、より良い給食指導に取り組む	①アセスメント及びエビデンスに関する研修を重ね、その意義と活用について共通理解を図る ②各種マニュアルの再確認と改訂作業を重ねながら、関わるスタッフの安全意識と協力体制を深化させ、事故が起きない環境を整えていく 専門職と連携し、実態と課題に応じた摂食指導の検討や研修を行う	①アセスメントを活用して指導計画を立て、その計画を実行した結果の児童・生徒の変容を評価し計画の改善に生かされたか ②わかりやすいマニュアルになるよう改訂を重ね、ヒューマンエラーを抑止するチーム力の発揮により、安心安全な教育活動が実施できたか 配慮食や摂食指導の改善が進み、給食の指導力が向上したか	①アセスメントのスケジュール化によりほぼ全児童生徒に実施するとともに、アセスメントに関する研修を重ね指導計画に反映させた ②医療的ケアをはじめとした各種のマニュアルや書式の改善が推進され、安心安全な教育活動が実施できた 専門職との連携により摂食評価に基づく配慮食や摂食指導の改善が進んだ	①アセスメントを全校レベルでとっていくことは定着しつつあるが、指導・支援での有効活用が課題である ②あらゆる教育活動の場面でチーム力を活用した指導・支援を実施するとともに、チーム力を発揮することでヒューマンエラーを抑止し安心安全を確立していく必要がある	医療的ケア等に係るヒヤリハット・アクシデントを教員が情報共有し、事故防止に努めていること、また医ケア保護者会でも公表されていることは評価できる 再発防止策についても保護者等にバックしてほしい	成果：アセスメントはほぼ全児童生徒に実施、マニュアルや書式の改善が推進され、チーム力による安心安全な教育活動が実施できた 課題：アセスメント結果を踏まえた指導・支援計画により、授業実践・教育活動でのアセスメントの有効活用を図る	・関係者の連携によるチーム支援により、教育活動を効果的に推進するとともに、チーム力を発揮した安全体制を構築する ・「アセスメント活用のお助けツール」を活用し適時適切なアセスメントを実施、アセスメントの活用による個別最適な指導・支援を行う

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月5日実施)	総合評価(3月21日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援 ①関係機関と連携し、自立と社会参加をめざす進路指導・支援の充実を図る	①高等部段階での進路のマッチングを充実させるとともに、自立と社会参加のためのスキルアップを小中学部の早い段階から図っていく	①全校の保護者向け、また職員向けの進路研修会、説明会、見学会などを実施し、系統性・連続性のある進路指導・支援の充実を図る	①各学部への進路情報提供の充実が図られ、研修会・見学会等への参加者範囲の拡大がみられたか	①全保護者対象に進路見学会や説明会を実施し、卒業後の就労や生活についての理解を深める機会をもったが、小中学部の参加者は1割とまだ少ない	①関係機関との連携を図りながら、就労だけではなく生活面での支援につながる連続性のある進路指導・支援の充実を図る	センター的機能の中で、進路に向けた研修を地域の特別支援学級の保護者も対象とできるような学びの機会も検討してもらえる	成果：進路のマッチングが図られた 課題：就労だけではなく生活面での支援につながる連続性のある進路指導・支援の充実を図る必要がある	・関係機関との連携を一層図りながら、就労だけではなく生活面での支援につながる連続性のある進路指導・支援の充実を図る
4	地域等との協働 ①共生社会の実現に向け、地域や関係機関等との連携により児童・生徒の社会貢献を促し、自己有用感を育成する ②センター的機能のめざすべき新たな方向性の検討と諸機関の連携による実践を推進する また、効果的なコミュニティ・スクールの実践的検証を行う。	①「地域を第2の教室に」構想の質を見直し、地域活動の取組を継続、深化させ、児童・生徒の社会貢献を促進し、自己有用感を育成する ②地域の小学校との人的交流の継続を軸に、インクルパートナーシップの深化と拡大を促進する 共生社会推進協働本部と連携を取りながら、地域とのつながりを構築していく	①地域活動の質を高め、いくために児童・生徒に身につけさせたい力を明確にして持続可能な活動に取り組んでいく ②インクルーシブな学校づくりに向けて広く共通理解を図り協働意識の醸成を図る 協働本部を持続可能なハブ機関として連携を取りながら、地域活動に本格的に取り組んでいく	①教育課程に位置付けられた地域での学習活動により、児童・生徒の社会貢献を促進し、自己有用感を高められたか ②地域の小学校との人的交流を要として、持続的・発展的なインクルーシブな学校づくりを促進できたか 協働本部との連携による地域活動の幅が広がり、相互に充実した取組ができたか	①地域の学校や公園、施設等での清掃活動やサービス活動により、地域の人や社会に貢献することで達成感や有用感を得ることができた ②人的交流を基軸としたインクルパートナーシップにより、インクルーシブな学校づくりへの共通理解と協働意識の醸成が図られた 協働本部との連携による地域活動の幅が広がり、相互に充実した取組ができた	①活動場所によっては移動に時間が費やされるなどの課題もあり、効果的な地域活動の在り方を検討し取組の質を深化させていく必要がある ②関係機関との連携を深めながらセンター的機能を発揮し、共生社会の実現に向けた挑戦に取り組む 協働本部との新たな連携を充実・深化させ、地域に開かれ地域と共に歩む学校をつくる	地域の学校におけるインクルーシブ推進をセンター的機能とするならば、人的交流を行った小学校に対しては大きな働きをした 今後は人的交流終了後の小学校を含めた地域の小中学校への関わり方を具体的に計画する必要がある 「インクルハブ湘南」等との取組の進展と成果は高く評価することができる	成果：地域の関係機関や協働本部等との連携により地域活動の取組が進展し、センター的機能を発揮したインクルーシブな学校づくりに一定の成果を生んだ 課題：地域におけるセンター的機能を発揮し、インクルーシブな学校づくりを持続的に推進するとともに、地域活動の質を深化させる	・協働本部等の関係機関との連携の充実による「地域を第2の教室に」構想の新たな展開を検討し、地域活動の深化を図る ・インクルパートナーシップの新たな関係を構築しながら、センター的機能の発揮による地域の共生社会実現に寄与する
5	学校管理 学校運営 ①教員の人格的資質および専門性の向上を図る ②安全で安心できる校内体制の整備を推進する また、実践的な防災のあり方検討と訓練等を実施する	①全教員が授業公開・授業改善に取り組み、授業力・指導力の向上に努める ②安心・安全な教育環境を提供するため、特に防災訓練においては災害対応能力を向上させる取組を行う	①学校公開や授業参観にも積極的に取り組み、開かれた学校を再構築しながら授業力・指導力の向上を図る ②発災時を想定した定期的な防災訓練を積み重ね、避難所開設訓練を生徒参加で行うなど、より実践的な防災訓練に取り組む	①指導立案から授業実践、評価、改善にチームで取り組み、自身の授業力・指導力を向上させることができたか ②あらゆる事態を想定した災害時の対応が準備できているか	①教員アンケートの「自身の指導力は向上したと感じる」割合が4月の51%から12月は82%と増加し向上が実感された ②小中学部では防災隊の活動を中心に防災学習に継続的に取り組み、高等部でも防災宿泊や防災校外学習を重ねている	①年次研修を含めエントリーして授業公開した教員は4割程度に留まったので、さらに積極的な公開を促進する ②巨大地震や富士山噴火などあらゆる災害を想定し防災体制を強化していく必要がある	教員がお互いに授業を見合うことのできる環境づくりが必要ではないか 「保護者アンケート」 「教員は専門性の向上に努力し、より良い指導を実践している」 よくあてはまる 69% ややあてはまる 25% 合計 94%の高評価	成果：多くの教員が授業力・指導力の向上を図ることができた 課題：あらゆる災害を想定した防災体制を強化していく必要がある 働きがいのある職場づくりのための業務の効率化を推進する必要がある	・あらゆる災害を想定した防災体制の強化を促進し、対応マニュアルの整備や必要な訓練を実施し有事に備える ・さまざまな面での働き方改革を促進し、業務改善を図る